

公益認定記念開催！

第4回日本ヘルスケア学会年次大会

公益財団法人日本ヘルスケア協会 活動発表会

参加のご案内

次頁に参加申込書添付

参加費(2日間通し、1人)
会員5千円、非会員7千円、学生2千円

会期：2023年3月17日(金)・18日(土)

会場：明治大学駿河台キャンパス

募集対象：学界(薬学/栄養/運動/福祉等)、関連企業(医薬品/食品/スポーツ/福祉/流通等)他

公益財団法人日本ヘルスケア協会(JAHI)主催「第4回日本ヘルスケア学会年次大会」を、2023年3月17日～18日に開催致します。3年ぶりとなる今回は、協会が昨年9月に公益認定を受けてから初の記念大会となります。「ヘルスケア＝予防」に対する関心が高まる今こそ、協会の活動を深く理解していただき、参画の輪を広げたいと考えております。皆さまのご参加をお待ちしております。

《第1日》

09:30～09:35 大会長挨拶(公財)日本ヘルスケア協会会長 今西信幸

09:35～09:50 明治大学グローバルビジネス研究科長挨拶 山村能郎氏

09:50～10:35 基調講演

プラネタリーヘルス～人も地球も健康なまちづくり(仮)

内科医/認定産医/tenrai(株)代表取締役医師 桐村里紗氏

10:35～12:00 パネルディスカッション

命の源“土壌”を考える(仮)桐村里紗氏ほか(予定)

13:00～15:20 口頭発表8題

15:30～15:50 協賛団体報告

15:50～17:00 関係官庁報告

《第2日》

09:30～09:35 本日のプログラム紹介

09:45～12:00 教育講演9題(演題は仮題、敬称略)

①ペットとの共生とヘルスケア

((一社)人とペットの幸せ創造協会会長・越村義雄)

②在宅歯科診療の現状と将来(ごはなが食べたい歯科・齋藤貴之)

③管理栄養士の栄養指導活用((株)スギ薬局常務取締役・杉浦伸哉)

④植物生育と腐植物質(弘前大学名誉教授・青山正和)

⑤ファーストエイド普及の重要性と課題

((一社)日本薬業研修センター医薬研究所長・堀美智子)

⑥女性のヘルスケア(Woman's代表取締役・阿部エリナ)

⑦セルフチェックの重要性と課題

(獨協医科大学埼玉医療センター教授・井手久満)

⑧アルツハイマー病の超早期診断から認知症克服に向けて

(東京大学医学系研究科教授・岩坪威)

⑨健康経営普及の現状と課題(法政大学大学院教授・玄場公規)

13:00～14:30 ポスターセッション

14:30～15:30 特別講演

『健康』で築くまちづくり(仮)

中野区長・酒井直人氏

地域包括ケア推進担当部長・藤井多希子氏

15:30～16:30 閉会式

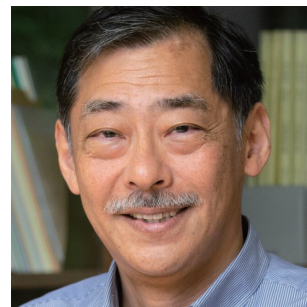
※その他、部会・研究会主催のセミナーあり

主な講師



基調講演 桐村里紗 医師

新たな学術分野や企業活動で注目されているプラネタリーヘルス(人と地球の健康)の実践の場として鳥取県江府町当局と連携し無農薬・無施肥・不耕起の協生農法を試行。「腸内の土壌改良にもなる食の選択」を唱える地域創生医。



教育講演⑧ 岩坪 威 教授

2025年、日本の65歳以上人口の認知症割合は約20%と推計される中、この分野の最先端研究をされている岩坪教授からアルツハイマー病問題への基本的対処について学ぶ。



教育講演⑦ 井手 久満 教授

健常者には自らの日常的な健康状態と生活習慣のチェックを促し、一方、高リスクの生活者には疾病の早期発見と適切な受診勧奨、重篤化させない環境を整えるためには、セルフチェックが決定的に重要。昨年11月に再スタートしたセルフチェック部会の井手部会長から機器、検査キット、疾患管理アプリ等の条件整備の方向を学ぶ。



特別講演 酒井 直人 中野区長

今後の本格的な超高齢・定期的な人口減少社会の到来に向け「健康」概念を街づくりの中心に据えて新執行政を進める先進自治体・中野区の酒井区長から、中野区「総合アクションプラン」を踏まえた今後の区政の方向について聞く。

詳しくは、
こちらの
QRコードから！

